

STEP 2-1 GW-US300GXS(子機)を設定しよう

続いてGW-US300GXSの設定を行います。

! MZK-WO4NU(親機)のセットアップが済んでいないときは、「らくらく!かんたん設定ガイド①」(別紙)を参照してセットアップを済ませてください。

- ※作業をはじめる前に使用中のアプリケーション(ワープロソフトウェアやメールソフトウェアなど)はすべて終了してください。
- ※セキュリティソフトウェアをインストールしているときは、一時停止または一時的にアンインストールしていないと、正常にインストールできない場合があります。一時停止またはアンインストールについては、セキュリティソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- ※他の周辺機器は取り付けていない状態でインストールをお勧めします。
- ※Windows Vistaご利用のときは、「管理者」権限をもつユーザー名でログインしてください。
- ※Windows XPご利用のときは、「パソコンの管理者」権限をもつユーザー名でログインしてください。
- ※Windows 2000ご利用のときは、「Administrator (アドミニストレータ)」または「Administratorsグループのユーザー名でログインしてください。
- ※Internet Explorer 6以上の環境を推奨します。
- ※無線LAN接続時には、必ず暗号化を設定してください。
- ※暗号化を無効にすると、ネットワーク全体の安全性が損なわれる恐れがあります。

STEP 2-1 専用ソフトをインストールしよう

本製品を使用するには、付属のCD-ROMから専用ソフトをパソコンにインストールする必要があります。以下の手順にしたがってください。

! まだ本製品をパソコンへ取り付けないでください。

① パソコンのCD/DVDドライブに付属のCD-ROM*を挿入します。

*GW-US300GXSのCD-ROM



▶ ②の画面が表示されます。

■Windows Vistaをお使いのときは
 (1)「自動再生」画面が表示されますので、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。
 (2)「tour」ファイルをダブルクリックします。

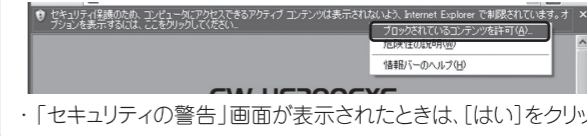
■「CDツアー」が表示されないときは
 (1)マイコンピュータを開きます。
 (2)CD/DVDドライブをダブルクリックします。
 (3)「tour」ファイルをダブルクリックします。

ご注意!

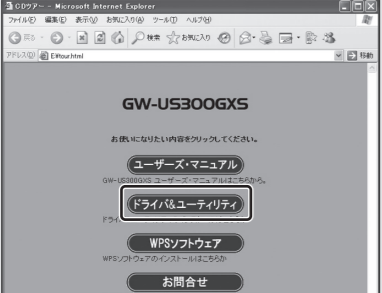
「アクティブコンテンツは、コンピュータに問題を引き起こしたり、個人情報や…」の画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

以下のメッセージが表示されたときは、メッセージ上でクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックしてください。

「セキュリティの警告」画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。



② [ドライバ&ユーティリティ]をクリックします。



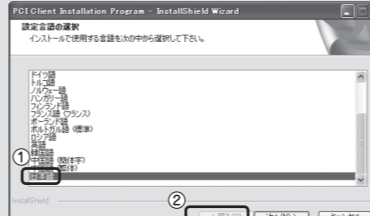
▶ 別ウィンドウが開きます。

③ ウィンドウの中の「Setup」ファイルをダブルクリックします。



▶ ④の画面が表示されます。
※Windows Vistaをお使いのときは、「許可」をクリックしてください。

④ 「日本語」を選び、「次へ」をクリックします。



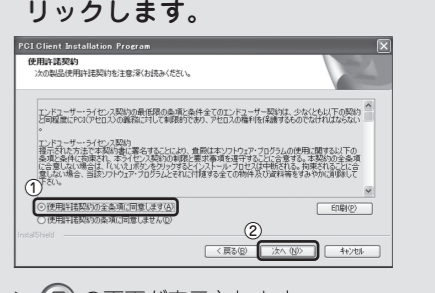
▶ 「セットアップの準備」が表示され、しばらくすると⑤の画面が表示されます。

⑤ [次へ]をクリックします。



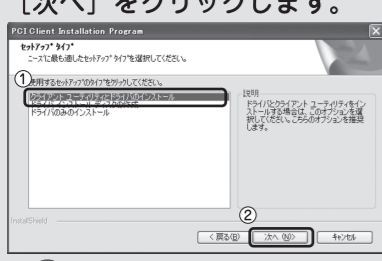
▶ ⑥の画面が表示されます。

⑥ 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選び、「次へ」をクリックします。



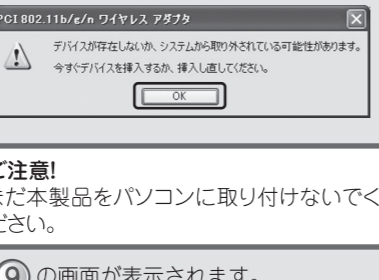
▶ ⑦の画面が表示されます。

⑦ 「クライアントユーティリティとドライバインストール」を選び、「次へ」をクリックします。



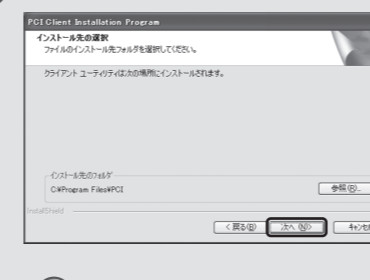
▶ ⑧の画面が表示されます。
※Windows Vistaのときはドライバのみインストールします。「はい」をクリックしてください。

⑧ [OK]をクリックします。



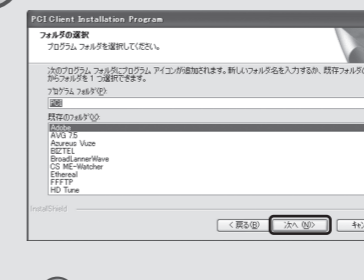
▶ ⑨の画面が表示されます。
※Windows Vistaのときは⑭へ進んでください。

⑨ [次へ]をクリックします。



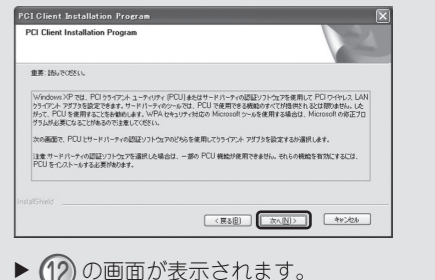
▶ ⑩の画面が表示されます。

⑩ [次へ]をクリックします。



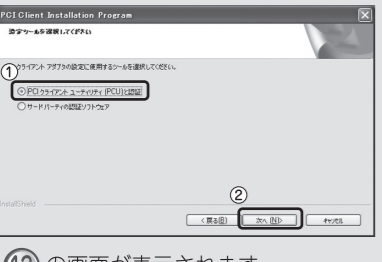
▶ ⑪の画面が表示されます。

⑪ [次へ]をクリックします。



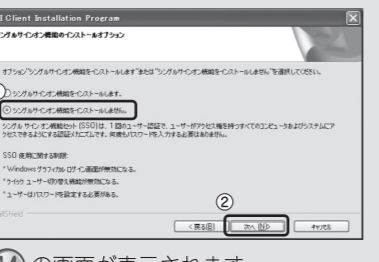
▶ ⑫の画面が表示されます。
※Windows 2000のときは、⑭へ進んでください。

⑫ 「PCIクライアントユーティリティ(PCU)と認証」を選び、「次へ」をクリックします。



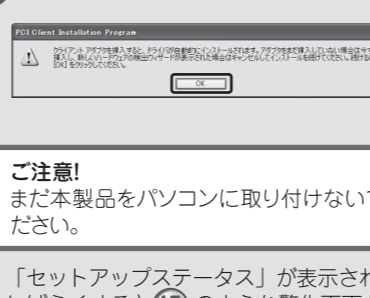
▶ ⑬の画面が表示されます。

⑬ 「シングルサインオン機能をインストールしません」を選び、「次へ」をクリックします。



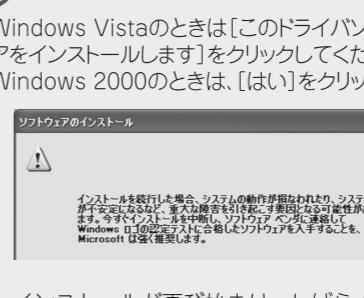
▶ ⑭の画面が表示されます。

⑭ [OK]をクリックします。



▶ 「セットアップステータス」が表示され、しばらくすると⑮のような警告画面が表示されます。

⑮ [続行]をクリックします。



▶ インストールが再び始まり、しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。

ご注意!
弊社において本製品の検証をおこなっており、ドライバをインストールしてもシステムに問題が発生させることはありません。

⑯ [完了]をクリックします。

これでインストールは終わりです。

STEP 2-2 本製品を取り付けよう

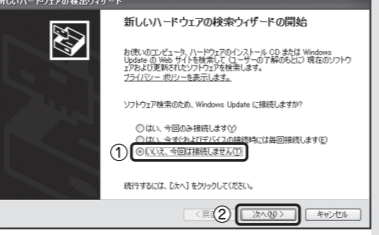
① パソコンのUSBポートに本製品を挿入します。

▶ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

Windows Vistaのときは
 自動的にインストールが完了します。「2-2 WPS用ソフトをインストールしよう」へ進んでください。

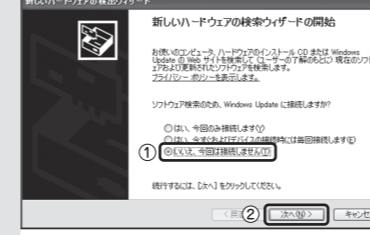
Windows 2000のときは
 「デジタル署名が見つかりませんでした」が表示されます。「はい」をクリックし⑥へ進んでください。

② ①「いいえ、今回は接続しません」を選択します。② [次へ]をクリックします。



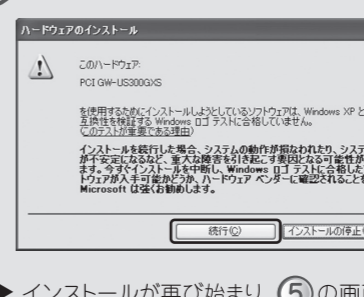
上の画面が表示されないときは③へ進んでください。

③ ①「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選びます。② [次へ]をクリックします。



▶ インストールが始まり、④の画面が表示されます。

④ [続行]をクリックします。

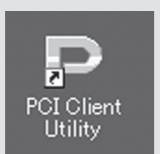


▶ インストールが再び始まり、⑤の画面が表示されます。

⑤ [完了]をクリックします。



⑥ デスクトップにユーティリティアイコンが表示されていることを確認します。



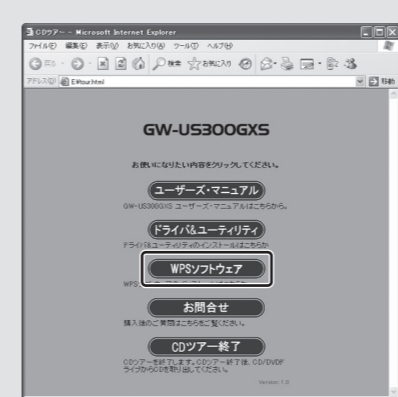
これでインストールは終わりです。

STEP 2-3 WPS用ソフトをインストールしよう

WPS用ソフトのインストール方法を説明します。このソフトをインストールすると、本製品と親機(MZK-WO4NU)のWPSボタンを押すだけで簡単に無線LANを設定できるようになります。

WPSとは
WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、無線LAN関連の業界団体「Wi-Fiアライアンス」が策定した無線LANの簡単設定規格です。同じWPS対応の無線ブロードバンドルータ(親機)と組み合わせて無線LANの設定や暗号化を簡単にすることができる機能です。

① [WPSソフトウェア]をクリックします。



※上の画面が表示されていないときは、②の①を行ってください。

▶ 別ウィンドウが開きます。

② ウィンドウの中の「Setup」ファイルをダブルクリックします。



▶ ③の画面が表示されます。

③ 「日本語」を選び、[次へ]をクリックします。
 ▶「セットアップの準備」が表示され、しばらくすると④の画面が表示されます。

④ [次へ]をクリックします。
 ▶⑤の画面が表示されます。

⑤ 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選び、[次へ]をクリックします。
 ▶「セットアップステータス」が表示され、しばらくすると⑥の画面が表示されます。

⑥ [続行]をクリックします。
 ※Windows Vistaのときは[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックし、⑨へ進んでください。
 ※Windows 2000のときは、[はい]をクリックします。

▶ インストールが再び始まります。そのまましばらくお待ちください。

⑦ 下の警告画面が数回表示されます。表示されるたびに[続行]をクリックします。
 ※Windows 2000のときは、[はい]をクリックします。
 ▶ インストールが再び始まります。そのまましばらくお待ちください。

⑧ 下の画面が表示されたときは、[はい]をクリックします。
 ▶ インストールが再び始まり、しばらくすると⑨の画面が表示されます。

⑨ [完了]をクリックします。
 ※パソコンが自動的に再起動されることがあります。

⑩ 画面右下のシステムトレイにユーティリティアイコンが表示されていることを確認します。
 これでWPSを使う準備ができました。

STEP 2-4 親機につながるようしよう

無線LANの設定方法を説明します。以下のいずれかの方法を選んで設定してください。

WPSボタンを使って自動で設定するとき (推奨) → **かんたん設定** へ

ユーティリティを使って手動で設定するとき → **通常設定** へ

WPS*1ボタンを使ってかんたんに無線LAN設定ができます。本製品では、WPSボタンを使って無線LANの設定をワンタッチで行うことができます。WPSボタンを使って無線LANの設定を行うときは*2、「かんたん設定」へ進んでください（「通常設定」は不要です）。

※1: WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは無線LAN機器のセキュリティなどの設定を簡単に行うための標準規格です。
 ※2: WPS機能を使って設定するためには、無線ブロードバンドルータ (親機) と無線LANクライアントの両方がWPSに対応している必要があります。

かんたん設定 ■設定前の準備
 親機 (MZK-W04NU) の設定が正しく済んでいることを確認してください。

① 本製品をパソコンのUSBポートに取り付け、パソコンの電源をオンにします。
 ※パソコンが起動してから②へお進みください。

② MZK-W04NU本体上面のWPSボタンを1秒以上押し続けます。

③ パソコンに下の画面が表示されるまで、本製品のWPSボタンを押し続けます。

④ 下の画面が表示されると接続の成功です。[完了]をクリックします。

これで無線LANの設定は終わりです。
 うまく接続できないときは、付属CD-ROM内のユーザーズマニュアルの「困ったときは」→「困った! その1」をご確認し、それでもつながらないときは、下記の「通常設定」で設定してください。

通常設定

通常設定では、手動で設定値を入力して無線LAN設定します。付属のMZK-W04NUおよびGW-US300GXSの各CD-ROMマニュアルを参照して設定してください。

MZK-W04NU ……「無線LANを設定する」→「本製品の無線LANを設定する」の「設定画面を使って設定する (通常設定)」を参照してください。
 GW-US300GXS ……「本製品を設定する」→「STEP 4. 無線LANの設定」→「通常設定」を参照してください。

STEP 2-5 インターネットに接続しよう

① Internet Explorer を起動します。

② インターネットに接続されることを確かめてください。
 これで本製品の設定は終了です。

●2台目以降のパソコンをインターネットに接続するときは

無線LANで通信するとき
 GW-US300GXSのとき
 各パソコンに「第2章 GW-US300GXSの設定」を行ってください。
 GW-US300GXS以外でWPSに対応しているとき
 「STEP 2-4」の「かんたん設定」で②までを行い、③以降はお使いの機器のマニュアルを参照してください。
 WPSに対応していないとき
 親機 (MZK-W04NU) の設定は、「STEP 2-4」の「通常設定」を参照してください。子機の設定は、お使いの機器のマニュアルを参照してください。

有線LANで通信するとき
 LANケーブルをつなぐだけで通信できます。

●ホームページが表示されないときは
 ・本製品がパソコンのUSBポートにしっかりと取り付けられているか確認してください。
 ・通信する機器との間に障害物がないか確認してください。
 ・通信をする機器との間に壁や家具などの障害物があるときは、電波がさざぎられ通信速度が低下したり、接続できないことがあります。また、電子レンジ、テレビ、携帯電話機などの家電製品のそばでの使用も、電波が影響を受けてしまい通信の障害となることがあります。
 ・電源を確認して、無線LAN通信の設定方法に間違いがないか確認してください。
 ・専用ソフトが正しくインストールされているか確認してください。

GW-US300GXS (子機) ユーザーズマニュアルの見方

本紙より詳細な設定などを参照したいときは、付属CD-ROM内のユーザーズマニュアルをご覧ください。

① パソコンのCD/DVDドライブにGW-US300GXSのCD-ROMを挿入します。
 ▶「CDツアー」が表示されます。

■Windows Vistaをお使いのときは
 ①「自動再生」画面が表示されますので、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。
 ②「tour」ファイルをダブルクリックします。

■「CD ツアー」が表示されないときは
 ①マイコンピュータを開きます。
 ②CD/DVDドライブをダブルクリックします。
 ③「tour」ファイルをダブルクリックします。

② 「マニュアル」ボタンをクリックします。

親機のUSBポートを使いこなそう

本製品背面のUSBポートに、USB接続に対応した外付けハードディスクをつなぐことで、外付けハードディスクを以下のように使うことができます。

【接続例】

- iTunesサーバ
外付けハードディスクに音楽データを保存し、複数のパソコンから音楽を再生することができます。
- DLNAメディアサーバ
外付けハードディスクに保存した映像・音楽・写真などのデータ、DLNA対応プレーヤーから再生することができます。
- BitTorrent
BitTorrentプロトコルを利用してファイル共有ができます。パソコンの電源を切っても本製品につながるUSBハードディスクにファイルを保存します。
- ファイルサーバ
外付けハードディスク保存したデータを複数のパソコンで共有することができます。

親機に追加設定が必要になります。詳細については、CD-ROMマニュアルの「さまざまな使い方」→「USB関連の設定」のそれぞれの項目を参照してください。

●ブラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONSは、ブラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
 ●MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ●その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
 ●ご注意: ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。